

## 令和4年度全国学力・学習状況調査における

### 北九州市立七九州市立黒川中学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和4年4月19日(火)に、3年生を対象として、「教科(国語、数学、理科)に関する調査」と「生徒質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思っております。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

#### 1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

#### 2. 調査内容

- (1) 教科に関する調査(国語、数学、理科)

##### 教科に関する調査(国語、数学、理科)

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

※調査では、上記①と②を一体的に問うこととする。

- (2) 生徒質問紙調査

##### 生徒質問紙調査

- 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

### 3. 教科に関する調査結果の概要

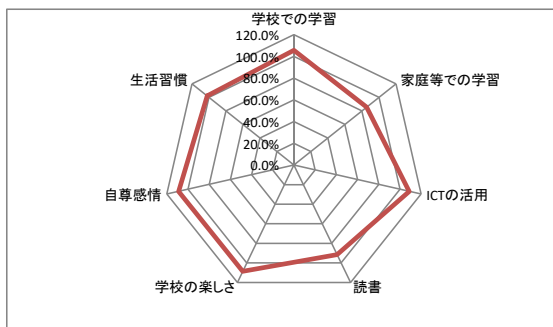
#### (1) 全国・本市の学力調査(国語、数学、理科)の結果

本年度の結果	国語		数学		理科	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	9.3	66	6.6	47	9.8	47
全国	9.7	69	7.2	51	10.4	49

#### (2) 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	学習指導要領の内容「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」に関する問題は、全国の平均・福岡県の平均を上回っています。	全国平均正答率との比較 上回っている
	よってきた問題	とりわけ言葉の特徴や使い方に関する問題(漢字を書いたり、適切な意味を選んだりする問題)に関しての正答率が高いです。	
	努力が必要な問題	我が国の言語文化に関する事項(行書の特徴や漢字のバランスについての説明等)に関する問題に対して課題が見られます。	
数学	全体的な傾向や特徴など	学習指導要領の「数と式」「関数」「データの活用」の領域において全国の平均・福岡県の平均を上回っています。「図形」の領域については、全国の平均・福岡県の平均を下回っています。	全国平均正答率との比較 上回っている
	よってきた問題	とりわけ「関数」の問題(一次関数の関係、座標を書く等)に関しての正答率が高いです。	
	努力が必要な問題	「図形」の問題(三角形の合同条件や証明等)に対して課題が見られます。	
理科	全体的な傾向や特徴など	学習指導要領の「エネルギー」「粒子」「生命」「地球」を柱とする領域のいずれにおいても、全国の平均・福岡県の平均を上回っています。	全国平均正答率との比較 上回っている
	よってきた問題	とりわけ「エネルギー」を柱とする領域の中で、実験の測定範囲と刻み幅をどのように調整し、測定点を増やすかを説明する問題の正答率が非常に高いです。	
	努力が必要な問題	特に「地球」を柱とする領域の問題(気象現象の観測データの妥当性を選択したり、地層の断面の傾きを適切に選択したりする問題)に対して課題が見られます。	

### 4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「授業では、話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と答えた生徒の割合が全国平均よりも上回っています。</li> <li>・「自分には、よいところがある」「先生は、よいところを認めてくれている」と答えた生徒の割合は、全国平均を上回っています。</li> <li>・「平日は1時間以上、土日等は2時間以上、学校の授業以外に勉強している」と答えた生徒の割合は、全国平均を下回っています。</li> </ul>

### 5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

#### ① 教科に関する取組

放課後の補修学習を通して、少人数指導による基礎学力の定着を図る取り組みを行っています。授業のまとめを文章で書くことにより、自分の学びを説明できるようにする取り組みを継続しています。

#### ② 家庭生活習慣等に関する取組

定期考査前には、計画表を活用して見通しをもって学習に励むよう、呼びかけを行っています。また、週末課題等を活用し、家庭学習の定着に向けて働きかけを継続していきます。